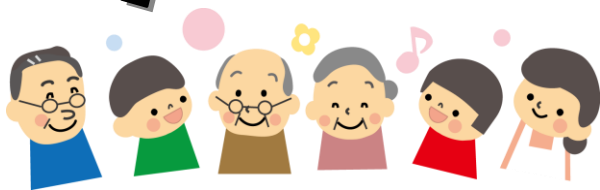


# 大歳じんけんだより



発行 大歳地区人権学習推進協議会  
大歳地域交流センター内  
TEL 922-4035  
FAX 922-4036

皆様には、お健やかに2013年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素より、人権学習の推進に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年3月11日の東日本大震災から間もなく2年が経過しようとしています。しかしながら、被災地の復旧・復興は決して順調ではありません。福島第一原子力発電所の事故により被災した人々が差別されるなど、東日本大震災に起因する人権問題も発生しております。一人ひとりが正しい知識と思いやりの心を持ち、問題を解決していくとともに、新しい人権問題を防止していくことが必要です。

一人ひとりの人権が尊重され、自分らしく安心して暮らせる地域社会の実現を目指すため、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって今年一年が健康で明るく実り多き幸せな年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

大歳地区人権学習推進協議会

## 大歳小学校人権学習

山口市立大歳小学校

去る10月18日（木）に、人権教育参観日と人権教育講演会を実施しました。各クラスで人権に関わる授業（道徳）を行い、その後、体育館で人権教育講演会を行いました。

今年は、『自分を伸ばし、相手を大切に作るコミュニケーション～パパ・ママコーチング～』と題して、日本青少年育成協会の藤井勝彦様に来ていただき、お互いを尊重し合うコミュニケーションの大切さについて、いろいろな活動をとおして教えていただきました。

### 【児童の感想から】

- ・2人で膝を付けて目を見合うことは、心がつながり、心がひとつになっていいなと思った。
- ・コミュニケーションのことがよくわかった。手をつないでぬくもりを感じたのは初めてだった。

### 【保護者の感想から】

- ・コミュニケーションの具体的な方法を教わることができてよかった。頭では～したらいい、～しない方がいいとわかっているけど、なかなかうまく表現しにくいものだが、今日は、どのように行動したらいいのか、どんな言葉がけがいいのか具体的にわかり、日頃から実践していけたらいいなと思った。
- ・温かい一言によって幸せな関係になれる。優しい心、優しい言葉が育つよう、大人の声かけや関わり方が大切だと気づいた。

鴻南中学校人権学習

山口市立鴻南中学校

去る11月9日(金)、保護者や地域の方々も交え、人権に関わる授業と講演会を行いました。本年度は山口県人権推進指針に示されたキーワードの中から「いのち」をテーマに選び、「いのちを大切に

1 各学年の公開授業

- (1) 1年生: 東日本大震災の日に被災地で誕生したいのちを見つめることを通して、生きることの意味やすばらしさについて考える授業を行いました。
(2) 2年生: 難病のために夭折した少年画家、本田紘輝くんや家族の生き方を通して、命の尊さに気づき、これからの自分の生き方について考えを深める授業を行いました。
(3) 3年生: 東日本大震災の日、祖母を置いて先に逃げ見殺しにしたのでは、という苦しみにさいなまれる大学生の投稿記事を基に、生きることの意味について考える授業を行いました。
(4) A・B・D組: 各学年の交流学級で道徳の授業に参加し、いのちについて考えを深めました。

祖母置き逃げた自分呪う

大学生の女子。何をしていてもあのことばかり思い出ししてしまいます。
あの日、私は祖母と一緒に逃げました。でも祖母は坂道の途中で、「これ以上走れない」と言

祖母は3日後、別れた場所からずつと離れたところで、遺体で見られました。気品があつて優しい祖母は私の憧れでした。でもその最期は、体育館で魚市場の魚のように転がされ、人間としての尊厳などどこにもない姿だったのです。

助けられたはずの祖母を見殺しにし、自分だけ逃げてしまつた。そんな自分を一生呪つて生きていくしかないのでしょうか。どうすれば償えますか。毎日とても苦しくて涙が出ます。助けて下さい。(A子)

平成23年5月23日付 読売新聞朝刊「人生案内」記事から ※授業で使った資料です。

【授業の感想から 3年生】

- 〇大切な人を失うということを体験したことがあります。A子さんは自分が見殺しにしたと思い一生自分のことを呪って生きていくしかないと思っていることを考えると、とても胸が苦しい気分になりました。今日の命の学習をして、命の大切さというものを改めて感じました。
〇人間というものは、自分を第一に考えていると思っていたが、ほとんどの人が誰かのため、相手のためについて考えているんだということを知って、人間はいいなと思うことができました。そして、これからは人との出会いを大切にして、自分自身の命も大切にしていきたいなと思いました。

2 教育講演会 演題「かけがえのないいのち ~ホスピスの現場から~」 講師 山口赤十字病院 副院長 末永 和之 様

「生きていることの意味、生かされていることへの感謝の念」について、エピソードをまじえながらお話いただきました。いのちと真剣に向き合うことで、人は大きく成長を遂げるのだということ、たとえ大切な人を亡くした後も、その思いは家族や周囲の者を通じて継承されていくのだということ、相手の目線より下に立つことで初めて相手を理解できることなど、「いのち」に関して多くのことを学んだ感動的な60分間でした。

【生徒の感想から】

- ◇学校から帰ると、母が「おかえり」と言ってくれます。それがどんなに幸せなことか気付かされました。お話に出てきた家族と自分の家族を重ねて、涙が出てきました。そして、私は自分の母が大好きだと気付きました…
◇講演を聞いて、改めて命の大切さに気付きました。「人生はすべてむだではない」という先生の言葉が印象的でした。そして、いい言葉だなと思いました。

「いのちの大切さについて、じっくりと考えていた様子でした。」「講演を聞き、思わず涙があふれました。もっといのちの大切さについて、子どもにも考えさせないといけないと思いました。」... 授業や講演会に対する、保護者・地域の方からの感想です。今後ともお互いの人権が尊重される学校づくりに努めて参ります。ご参会くださった皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。